



FRANKLIN
TEMPLETON

LM・オーストラリア 高配当株ファンド (為替ヘッジあり) (毎月分配型)

2022年12月21日より、ファンド名称を「フランクリン・テンプレトン・オーストラリア高配当株ファンド (為替ヘッジあり) (毎月分配型)」に変更します。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2017年3月1日～2031年9月22日まで	
運用方針	主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・オーストラリア高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・オーストラリア高配当株マザーファンド	オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。ただし、初回分配日は第4期決算日（2017年6月20日）とします。	

当報告書に関するお問合わせ先：
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

運用報告書（全体版）

第62期 決算日 2022年4月20日

第63期 決算日 2022年5月20日

第64期 決算日 2022年6月20日

第65期 決算日 2022年7月20日

第66期 決算日 2022年8月22日

第67期 決算日 2022年9月20日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「LM・オーストラリア高配当株ファンド (為替ヘッジあり) (毎月分配型)」は、2022年9月20日に第67期の決算を行いましたので、第62期、第63期、第64期、第65期、第66期、第67期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			株組入比率	株先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税分	達配				
	円	円	円	%	%	%	百万円
38期(2020年4月20日)	8,000	30	11.2	86.5	—	11.9	171
39期(2020年5月20日)	8,021	30	0.6	87.1	—	12.5	171
40期(2020年6月22日)	8,796	30	10.0	82.8	—	12.1	194
41期(2020年7月20日)	8,726	30	△ 0.5	86.7	—	11.5	219
42期(2020年8月20日)	8,677	30	△ 0.2	86.6	—	11.5	217
43期(2020年9月23日)	8,234	30	△ 4.8	82.8	—	12.1	207
44期(2020年10月20日)	8,837	30	7.7	84.0	—	12.3	220
45期(2020年11月20日)	9,357	30	6.2	83.9	—	13.6	249
46期(2020年12月21日)	9,441	30	1.2	86.2	—	13.7	277
47期(2021年1月20日)	9,598	30	2.0	87.8	—	13.9	284
48期(2021年2月22日)	9,561	30	△ 0.1	88.9	—	13.1	330
49期(2021年3月22日)	9,810	30	2.9	85.6	—	13.1	322
50期(2021年4月20日)	10,017	30	2.4	85.5	—	13.2	319
51期(2021年5月20日)	9,768	30	△ 2.2	84.7	—	12.8	292
52期(2021年6月21日)	10,290	30	5.7	82.8	—	12.8	309
53期(2021年7月20日)	10,060	30	△ 1.9	83.7	—	12.2	299
54期(2021年8月20日)	10,403	30	3.7	82.4	—	12.2	307
55期(2021年9月21日)	10,285	30	△ 0.8	81.0	—	13.8	302
56期(2021年10月20日)	10,509	30	2.5	88.4	—	15.5	308
57期(2021年11月22日)	10,370	30	△ 1.0	81.2	—	15.3	302
58期(2021年12月20日)	10,225	30	△ 1.1	81.9	—	15.7	295
59期(2022年1月20日)	10,414	30	2.1	85.3	—	15.6	257
60期(2022年2月21日)	10,478	30	0.9	83.5	—	16.0	245
61期(2022年3月22日)	10,540	30	0.9	88.8	—	16.1	236
62期(2022年4月20日)	10,875	30	3.5	85.3	—	14.9	241
63期(2022年5月20日)	10,383	30	△ 4.2	79.9	—	14.4	231
64期(2022年6月20日)	9,385	30	△ 9.3	84.8	—	14.6	204
65期(2022年7月20日)	9,787	30	4.6	86.3	—	15.0	212
66期(2022年8月22日)	10,175	30	4.3	86.1	—	12.9	224
67期(2022年9月20日)	9,687	30	△ 4.5	84.4	—	12.4	210

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率
			騰 落 率	率			
第62期	(期首) 2022年3月22日	円 10,540	% -	% 88.8	% -	% 16.1	
	3月末	10,837	2.8	85.9	-	15.2	
	(期末) 2022年4月20日	10,905	3.5	85.3	-	14.9	
第63期	(期首) 2022年4月20日	10,875	-	85.3	-	14.9	
	4月末	10,605	△2.5	82.1	-	14.8	
	(期末) 2022年5月20日	10,413	△4.2	79.9	-	14.4	
第64期	(期首) 2022年5月20日	10,383	-	79.9	-	14.4	
	5月末	10,517	1.3	85.1	-	15.3	
	(期末) 2022年6月20日	9,415	△9.3	84.8	-	14.6	
第65期	(期首) 2022年6月20日	9,385	-	84.8	-	14.6	
	6月末	9,818	4.6	84.9	-	14.9	
	(期末) 2022年7月20日	9,817	4.6	86.3	-	15.0	
第66期	(期首) 2022年7月20日	9,787	-	86.3	-	15.0	
	7月末	10,019	2.4	86.4	-	14.3	
	(期末) 2022年8月22日	10,205	4.3	86.1	-	12.9	
第67期	(期首) 2022年8月22日	10,175	-	86.1	-	12.9	
	8月末	10,057	△1.2	85.9	-	13.3	
	(期末) 2022年9月20日	9,717	△4.5	84.4	-	12.4	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

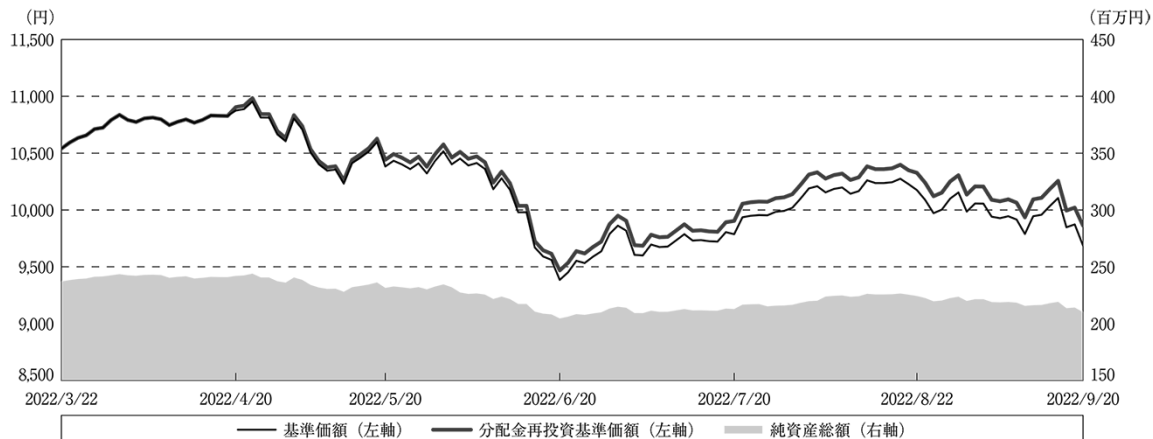
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率-売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2022年3月23日～2022年9月20日)



第62期首：10,540円

第67期末：9,687円 (既払分配金(税込み)：180円)

騰落率：△ 6.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2022年3月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。保有銘柄からの配当を手堅く確保しましたが、株式市場の下落を受け、価格要因がマイナスとなりました。

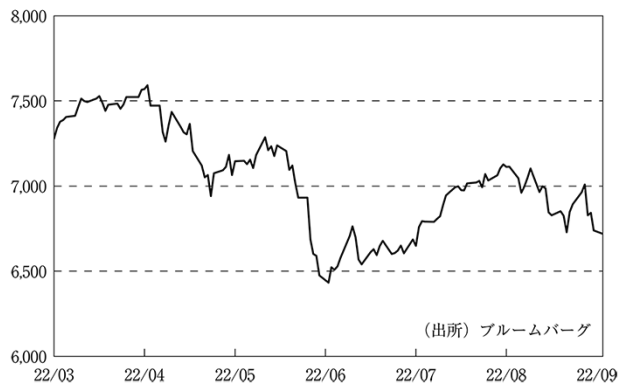
当作成期のオーストラリア株式市場は下落しました。

期の前半は、ロシア・ウクライナ間の停戦交渉に対する期待感などを背景に株価は上昇しました。しかしその後は、オーストラリア準備銀行（RBA）が2022年5月の理事会で利上げを決定し、利上げ幅が市場予想を上回ったことや、追加引き締め観測から長期金利が上昇したことなどを受け、株価は下落しました。

期の半ばは、RBAが6月にも市場予想を上回る幅での利上げを決定したことなどから、株価は下落しましたが、その後は大幅下落の反動から買い戻す動きが優勢となりました。

期の後半は、米国のインフレ指標が市場予想を下回る内容となったことなどを受け、米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派姿勢が後退するとの思惑から米国株式市場が上昇したことに連れ、オーストラリア株式市場も堅調に推移しました。しかし、その後はジャクソンホール会議におけるパウエルFRB議長のタカ派的発言により世界的に株式市場が下落する中、オーストラリア株式市場も下落しました。

オーストラリア株式指数（ASX200）の推移



当ファンドは、主に「LM・オーストラリア高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、当ファンドの実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。当作成期においては、高水準の配当利回りが期待できるオーストラリア株式への投資を行いました。

分配金

(2022年3月23日～2022年9月20日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
	2022年3月23日～ 2022年4月20日	2022年4月21日～ 2022年5月20日	2022年5月21日～ 2022年6月20日	2022年6月21日～ 2022年7月20日	2022年7月21日～ 2022年8月22日	2022年8月23日～ 2022年9月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.275%	30 0.288%	30 0.319%	30 0.306%	30 0.294%	30 0.309%
当期の収益	21	21	—	14	23	30
当期の収益以外	8	8	30	15	6	—
翌期繰越分配対象額	2,087	2,079	2,049	2,034	2,028	2,154

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、投資魅力が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年3月23日～2022年9月20日)

項 目	第62期～第67期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	94	0.910	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(45)	(0.439)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(45)	(0.439)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.028	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.022)	
（ 投 資 証 券 ）	(1)	(0.006)	
(c) そ の 他 費 用	3	0.029	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(2)	(0.019)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	100	0.967	
作成期間の平均基準価額は、10,308円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

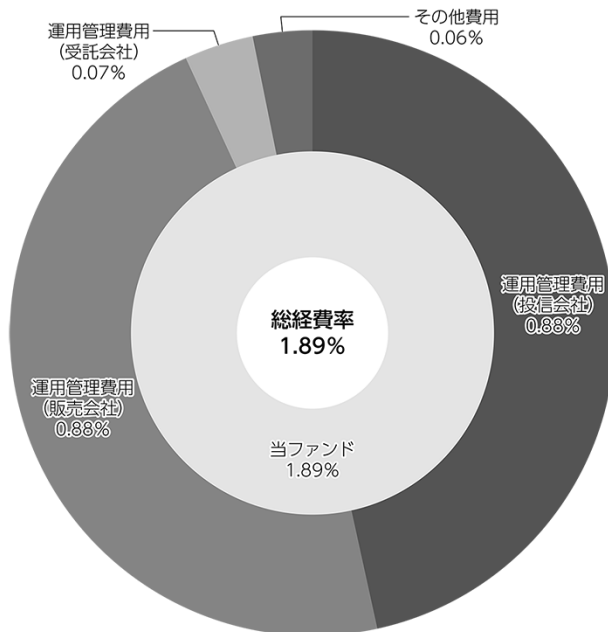
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月23日～2022年9月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第62期～第67期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
LM・オーストラリア高配当株マザーファンド	千口 4,802	千円 16,668	千口 19,653	千円 69,724

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年3月23日～2022年9月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第62期～第67期
	LM・オーストラリア高配当株マザーファンド
(a) 当作成期中の株式売買金額	54,824,831千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	263,318,793千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.21

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月23日～2022年9月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2022年3月23日～2022年9月20日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年3月23日～2022年9月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第61期末	第67期末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・オーストラリア高配当株マザーファンド	千口 74,902	千口 60,051	千円 211,718

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	第67期末	
	評 価 額	比 率
LM・オーストラリア高配当株マザーファンド	千円 211,718	% 100.0
コール・ローン等、その他	6	0.0
投資信託財産総額	211,724	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・オーストラリア高配当株マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(290,311,050千円)の投資信託財産総額(291,572,719千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月20日における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=96.30円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第62期末	第63期末	第64期末	第65期末	第66期末	第67期末
	2022年4月20日現在	2022年5月20日現在	2022年6月20日現在	2022年7月20日現在	2022年8月22日現在	2022年9月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	517,283,179	454,772,851	428,784,671	427,953,970	451,935,227	441,693,342
LM・ホストリア高配当株マザーファンド(評価額)	248,140,760	222,576,095	207,490,948	220,054,624	226,360,863	211,718,344
未収入金	269,142,419	232,196,756	221,293,723	207,899,346	225,574,364	229,974,998
(B) 負債	275,315,643	223,332,817	224,235,631	215,130,544	227,646,757	231,593,359
未払金	274,289,699	222,298,919	223,224,046	214,153,386	226,610,131	230,611,100
未払収益分配金	667,505	668,737	653,884	652,396	661,304	650,657
未払解約金	—	35	—	—	—	5,706
未払信託報酬	349,656	355,379	348,089	315,954	365,420	317,245
その他未払費用	8,783	9,747	9,612	8,808	9,902	8,651
(C) 純資産総額(A－B)	241,967,536	231,440,034	204,549,040	212,823,426	224,288,470	210,099,983
元本	222,501,737	222,912,422	217,961,554	217,465,637	220,434,784	216,885,905
次期繰越損益金	19,465,799	8,527,612	△ 13,412,514	△ 4,642,211	3,853,686	△ 6,785,922
(D) 受益権総口数	222,501,737口	222,912,422口	217,961,554口	217,465,637口	220,434,784口	216,885,905口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,875円	10,383円	9,385円	9,787円	10,175円	9,687円

<注記事項>

(注) 元本の状況

 当作成期首元本額 224,836,831円

 当作成期中追加設定元本額 7,871,210円

 当作成期中一部解約元本額 15,822,136円

(注) 元本の欠損

 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,785,922円であります。

○損益の状況

項 目	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
	2022年3月23日～ 2022年4月20日	2022年4月21日～ 2022年5月20日	2022年5月21日～ 2022年6月20日	2022年6月21日～ 2022年7月20日	2022年7月21日～ 2022年8月22日	2022年8月23日～ 2022年9月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	8,468,382	△ 9,927,703	△20,714,692	9,712,491	9,391,228	△ 9,599,532
売買益	48,550,787	15,673,917	208,325	16,119,842	13,846,890	1,210,569
売買損	△40,082,405	△25,601,620	△20,923,017	△ 6,407,351	△ 4,455,662	△10,810,101
(B) 信託報酬等	△ 358,439	△ 365,126	△ 357,701	△ 324,762	△ 375,322	△ 325,896
(C) 当期損益金(A+B)	8,109,943	△10,292,829	△21,072,393	9,387,729	9,015,906	△ 9,925,428
(D) 前期繰越損益金	20,708,732	28,121,999	16,732,188	△ 4,976,403	3,715,156	11,864,728
(E) 追加信託差損益金	△ 8,685,371	△ 8,632,821	△ 8,418,425	△ 8,401,141	△ 8,216,072	△ 8,074,565
(配当等相当額)	(18,302,667)	(18,418,232)	(18,087,029)	(18,079,545)	(18,988,538)	(18,717,186)
(売買損益相当額)	(△26,988,038)	(△27,051,053)	(△26,505,454)	(△26,480,686)	(△27,204,610)	(△26,791,751)
(F) 計(C+D+E)	20,133,304	9,196,349	△12,758,630	△ 3,989,815	4,514,990	△ 6,135,265
(G) 収益分配金	△ 667,505	△ 668,737	△ 653,884	△ 652,396	△ 661,304	△ 650,657
次期繰越損益金(F+G)	19,465,799	8,527,612	△13,412,514	△ 4,642,211	3,853,686	△ 6,785,922
追加信託差損益金	△ 8,685,371	△ 8,632,821	△ 8,418,425	△ 8,401,141	△ 8,216,072	△ 8,074,565
(配当等相当額)	(18,303,315)	(18,419,422)	(18,087,029)	(18,079,808)	(19,000,251)	(18,718,723)
(売買損益相当額)	(△26,988,686)	(△27,052,243)	(△26,505,454)	(△26,480,949)	(△27,216,323)	(△26,793,288)
分配準備積立金	28,151,170	27,938,069	26,586,973	26,161,707	25,710,224	28,009,954
繰越損益金	—	△10,777,636	△31,581,062	△22,402,777	△13,640,466	△26,721,311

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	483,914	484,807	0	321,283	514,480	3,387,130
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	6,630,082	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	18,303,315	18,419,422	18,087,029	18,079,808	19,000,251	18,718,723
(D) 分配準備積立金	21,704,679	28,121,999	27,240,857	26,492,820	25,857,048	25,273,481
分配対象収益額(A+B+C+D)	47,121,990	47,026,228	45,327,886	44,893,911	45,371,779	47,379,334
(1万円当たり収益分配対象額)	(2,117)	(2,109)	(2,079)	(2,064)	(2,058)	(2,184)
収 益 分 配 金	667,505	668,737	653,884	652,396	661,304	650,657
(1万円当たり収益分配金)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)	(30)

○分配金のお知らせ

	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期
1万口当たり分配金(税込み)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・オーストラリア高配当株マザーファンド

運用状況のご報告

第11期 決算日 2022年9月20日

(計算期間：2021年9月22日～2022年9月20日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・オーストラリア高配当株マザーファンド」の第11期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を中心に投資を行います。 2. 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 3. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	オーストラリアの証券取引所に上場している株式及び不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率	純資産額
	円	騰落率				
7期(2018年9月20日)	25,709	△ 2.2	82.7	—	13.1	673,552
8期(2019年9月20日)	25,436	△ 1.1	84.1	—	12.9	543,399
9期(2020年9月23日)	20,851	△18.0	83.8	—	12.3	379,575
10期(2021年9月21日)	29,191	40.0	82.8	—	14.1	349,369
11期(2022年9月20日)	35,256	20.8	83.8	—	12.3	290,530

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	株先物比率	投資信託組入比率
	円	騰落率			
(期首) 2021年9月21日	29,191	—	82.8	—	14.1
9月末	29,689	1.7	84.3	—	14.0
10月末	32,139	10.1	83.9	—	15.5
11月末	29,665	1.6	82.1	—	15.6
12月末	31,539	8.0	82.9	—	15.8
2022年1月末	29,168	△ 0.1	83.9	—	15.2
2月末	31,071	6.4	82.5	—	15.6
3月末	36,430	24.8	84.1	—	14.9
4月末	35,705	22.3	83.9	—	15.1
5月末	35,665	22.2	83.8	—	15.1
6月末	34,279	17.4	84.2	—	14.7
7月末	35,253	20.8	85.0	—	14.1
8月末	35,957	23.2	84.7	—	13.1
(期末) 2022年9月20日	35,256	20.8	83.8	—	12.3

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年9月22日～2022年9月20日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。豪ドル高・円安を反映し、為替要因がプラス寄与しました。株式要因については、保有銘柄からの配当を手堅く確保しましたが、株式市場の下落を受け、価格要因はマイナスとなりました。

当期のオーストラリア株式市場全体は下落しました。

期の前半は、方向感の定まらない展開が続きましたが、その後は米豪の利上げの前倒し観測により長期金利が上昇したことや、ウクライナ情勢の緊迫化などから、株価は下落しました。

期の半ばは、株価が上昇する場面も見られましたが、オーストラリア準備銀行（RBA）が2022年5月の理事会で利上げを決定し、利上げ幅が市場予想を上回ったことや、追加引き締め観測から長期金利が上昇したことなどを受け、株価は下落しました。さらに、RBAが6月にも市場予想を上回る幅での追加利上げを決定したことなどから、株価の下落が加速しました。

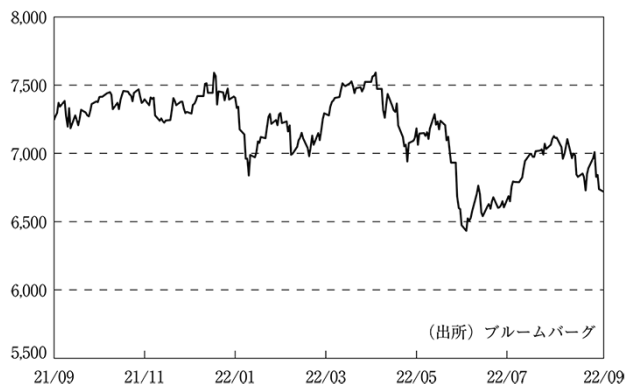
期の後半は、米国のインフレ指標が市場予想を下回る内容となったことなどを受け、米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派姿勢が後退するとの思惑から米国株式市場が上昇したことに連れ、オーストラリア株式市場も堅調に推移しました。しかし、その後はジャクソンホール会議におけるパウエルFRB議長のタカ派的発言により世界的に株式市場が下落する中、オーストラリア株式市場も下落しました。

当期の豪ドル・円相場は、豪ドル高・円安となりました。

期の前半は、2021年4-6月期の豪GDPが予想を上回ったことや、オーストラリアの債券利回りが上昇し、日豪金利差の拡大が意識されたことなどから、豪ドル買い・円売りが強まりました。その後は、RBAが国債利回りの低金利誘導策の終了を発表したものの、金融政策が予想されたほどタカ派方向への修正ではなかったと受け止められたことから、豪ドルは下落しました。

期の半ばは、RBAの金融引き締め政策などを背景に豪ドル買い・円売りが強まりました。その後は急速な金融引き締めに対する警戒感から株安が進み、リスク回避姿勢が意識されたことから、豪

オーストラリア株式指数（ASX200）の推移



豪ドル／円レートの推移



ドル売り・円買いが優勢となりました。

期の後半は、RBAの金融引き締めを背景にオーストラリア債券利回りが上昇する中、豪ドルは対円で上昇しました。その後はやや方向感の定まらない展開が続きましたが、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB議長のタカ派的発言等を受け、海外諸国における利上げが継続するとの観測が広がり、豪ドルは対円で一段高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、高水準の配当利回りが期待できるオーストラリア株式への投資を行いました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主にオーストラリアの証券取引所に上場している株式および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行ってまいります。

○1万口当たりの費用明細

(2021年9月22日～2022年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 19	% 0.057	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(16)	(0.049)	
(投 資 証 券)	(3)	(0.008)	
(b) そ の 他 費 用	3	0.008	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	22	0.065	
期中の平均基準価額は、33,046円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年9月22日～2022年9月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株	千オーストラリアドル	百株	千オーストラリアドル
		509,676 (75,360)	291,958 ()	2,018,351 ()	1,294,262 (3,140)

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	百口	千オーストラリアドル	百口	千オーストラリアドル
オーストラリア				
CHARTER HALL RETAIL REIT	—	—	40,827	17,105
STOCKLAND	—	—	163,126	62,959
GPT GROUP	—	—	17,275	8,054
SCENTRE GROUP	—	—	82,912	24,359
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	—	—	64,198	18,363
DEXUS/AU	—	—	25,228	26,965
VICINITY CENTRES	—	—	293,682	55,217
小 計	—	—	687,250	213,025

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2021年9月22日～2022年9月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	137,671,544千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	266,659,992千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.52

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年9月22日～2022年9月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期 末		評 価 額		業 種 等
		株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
				千オーストラリアドル	千円	
(オーストラリア)	百株	百株				
AUST AND NZ BANKING GROUP	90,484	70,010	164,944	15,884,137	金融	
WESTPAC BANKING CORP	69,399	27,759	59,820	5,760,757	金融	
TELSTRA CORP LTD	575,450	432,953	164,089	15,801,812	コミュニケーション・サービス	
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	46,415	46,415	38,942	3,750,188	金融	
ASX LTD	4,450	—	—	—	金融	
BHP GROUP LTD	42,903	19,681	74,414	7,166,069	素材	
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	277,583	126,855	53,659	5,167,441	一般消費財・サービス	
TRANSURBAN GROUP	44,726	46,617	61,348	5,907,824	資本財・サービス	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	16,210	6,893	65,251	6,283,728	金融	
APA GROUP	87,812	82,372	85,584	8,241,818	公益事業	
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	122,038	109,867	49,330	4,750,510	金融	
G. U. D. HOLDINGS LTD	33,135	48,226	39,063	3,761,830	一般消費財・サービス	
GWA GROUP LTD	109,659	100,539	19,002	1,829,893	資本財・サービス	
DOWNER EDI LTD	—	107,407	51,662	4,975,132	資本財・サービス	
WORLEY LTD	—	17,703	24,396	2,349,340	エネルギー	
SUNCORP GROUP LTD	127,258	70,561	73,524	7,080,423	金融	
MONADELPHOUS GROUP LTD	—	15,553	19,924	1,918,683	資本財・サービス	
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	80,407	33,752	100,246	9,653,700	金融	
JB HI-FI LTD	24,719	12,821	52,348	5,041,149	一般消費財・サービス	
INSIGNIA FINANCIAL LTD	236,319	200,722	64,030	6,166,137	金融	
QBE INSURANCE GROUP LTD	—	46,657	56,128	5,405,196	金融	
TABCORP HOLDINGS LTD	191,825	—	—	—	一般消費財・サービス	
WESFARMERS LTD	12,279	11,055	50,234	4,837,587	一般消費財・サービス	
ALUMINA LTD	422,039	483,539	67,937	6,542,360	素材	
WOODSIDE PETROLEUM LTD	35,526	—	—	—	エネルギー	
WOOLWORTHS GROUP LTD	16,789	15,115	52,404	5,046,586	生活必需品	
SUPER RETAIL GROUP LTD	22,130	20,576	20,000	1,926,054	一般消費財・サービス	
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	381,884	—	—	—	公益事業	
MACQUARIE GROUP LTD	5,476	5,256	90,933	8,756,943	金融	
AURIZON HOLDINGS LTD	406,890	381,684	138,169	13,305,748	資本財・サービス	
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	169,575	159,070	46,130	4,442,351	一般消費財・サービス	
PENDAL GROUP LTD	61,684	48,692	24,005	2,311,702	金融	
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN	401,572	382,025	78,697	7,578,543	コミュニケーション・サービス	
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	—	37,401	121,293	11,680,562	エネルギー	
LOTTERY CORP LTD/THE	—	109,176	47,382	4,562,945	一般消費財・サービス	
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALI	44,147	38,874	27,678	2,665,453	生活必需品	
AUSNET SERVICES	550,788	—	—	—	公益事業	
MEDIBANK PRIVATE LTD	476,981	429,410	151,581	14,597,328	金融	
AGL ENERGY LTD	101,628	91,492	63,770	6,141,089	公益事業	
SOUTH32 LTD	—	135,325	52,912	5,095,448	素材	
VIVA ENERGY GROUP LTD	110,431	—	—	—	エネルギー	
COLES GROUP LTD	56,805	45,729	76,459	7,363,077	生活必需品	
ATLAS ARTERIA	81,815	106,701	69,782	6,720,094	資本財・サービス	
INGHAMS GROUP LTD	138,500	119,939	29,745	2,864,446	生活必需品	
合 計	株数・金額	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
	5,677,752	4,244,437	38	2,526,833	243,334,103	
	銘柄数<比率>	37	38	—	<83.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額	
(オーストラリア)	百口	百口	千オーストラリアドル	千円	%
CHARTER HALL RETAIL REIT	106,111	65,283	25,852	2,489,580	0.9
GPT GROUP	139,078	121,803	50,304	4,844,344	1.7
STOCKLAND	294,831	131,704	45,964	4,426,425	1.5
DEXUS/AU	25,228	—	—	—	—
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	204,207	140,009	35,422	3,411,166	1.2
SCENTRE GROUP	545,808	462,896	129,148	12,436,972	4.3
VICINITY CENTRES	745,478	451,796	84,260	8,114,245	2.8
合 計	2,060,744	1,373,494	370,952	35,722,734	
口数・金額 銘柄数<比率>	7	6	—	<12.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 243,334,103	83.5%
投資証券	35,722,734	12.3
コール・ローン等、その他	12,515,881	4.3
投資信託財産総額	291,572,719	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(290,311,050千円)の投資信託財産総額(291,572,719千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月20日における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=96.30円です。

○特定資産の価格等の調査

(2021年9月22日～2022年9月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	294,750,378,232
コール・ローン等	6,052,691,218
株式(評価額)	243,334,103,475
投資証券(評価額)	35,722,734,744
未収入金	5,505,899,762
未収配当金	4,134,949,033
(B) 負債	4,220,224,393
未払金	3,177,659,100
未払解約金	1,042,561,793
未払利息	3,500
(C) 純資産総額(A-B)	290,530,153,839
元本	82,406,164,669
次期繰越損益金	208,123,989,170
(D) 受益権総口数	82,406,164,669口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,256円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	119,682,684,810円
期中追加設定元本額	7,299,127,573円
期中一部解約元本額	44,575,647,714円

(注) 期末における元本の内訳

LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	38,769,877,267円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(適格機関投資家専用)	38,268,333,895円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(年2回決算型)	5,222,893,770円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)	85,008,017円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(為替ヘッジあり)(毎月分配型)	60,051,720円

○損益の状況 (2021年9月22日～2022年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	16,897,569,616
受取配当金	16,896,698,911
受取利息	2,468,031
支払利息	△ 1,597,326
(B) 有価証券売買損益	46,657,045,841
売買益	79,311,748,683
売買損	△ 32,654,702,842
(C) 保管費用等	△ 25,630,685
(D) 当期損益金(A+B+C)	63,528,984,772
(E) 前期繰越損益金	229,686,704,139
(F) 追加信託差損益金	17,191,698,687
(G) 解約差損益金	△102,283,398,428
(H) 計(D+E+F+G)	208,123,989,170
次期繰越損益金(H)	208,123,989,170

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。